

英会話の基礎

アメリカ人のように、
基礎的な会話が
話せるようになる！



英会話の基礎

パート 1 : アメリカ人のように、 自然な挨拶する方法

私の場合は、日本人に初めて会った時、このような流れでした。

A: "Hey!"

B: "Hello!"

A: "How are you doing?"

B: "I'm fine thank you, and you?"

この時、「I'm fine thank you, and you?」というフレーズを初めて聞きました。今までネイティブスピーカーからこう話しかけられたことはなかったんです。しかし、そこまで深くは考えませんでした。

でも、日本人の友達ができるにつれて、みんなが同じ「I'm fine thank you and you?」しか使わないことにびっくりしました。

なぜ、みんながこんな不自然な挨拶を使ったのでしょうか？

生徒にアメリカ人のような挨拶のしかたを教えたら、とても喜んでいたので、皆さんにも正しい、自然なアメリカ人の挨拶を紹介したいと思います。

では、最初から始めましょう。

“Hi” か “Hey”か、どちらがいいのでしょうか？
友達に声をかける時に、何とさえばいいのでしょうか？

“Hello!”
“Hi!”
“Hey!”
“Hey there!”
“Good afternoon!”

実は「Hello」の代わりに、色々な表現があります。

でも考えすぎなくて大丈夫です。英語を勉強する上で一番大事なことは自信をもつことです。言葉自体よりも、自信や笑顔、アイコンタクトの方が気持ちを伝えることができます。

ポイント：笑顔があいさつ代わり。

けれど、「Good Afternoon」や「Hello」のようなフレーズはちょっとフォーマルな感じがして、アメリカの職場でも使う事が少ないかもしれません。

では、私たちアメリカ人は普段、何と言うのでしょうか？

“Hey, how are you?”

実際に、私のくだけた英語では「へハワヤ」みたいに発音します。

アメリカ人に声を掛ける時のポイントは「Hey, how are you?」

「Hi」や「Hello」と言うのも当たり前ですが、「Hey, how are you?」の方が会話に乗り気な感じがします。よりフレンドリーになります。

私は、「Hi」か「Hello」だけで返されたら、相手は忙しいのかなと思ってしまいます。

ポイント：会話をもっと広げたいなら、「Hey, how are you?」と言うといいです。もし会話を避けたいなら、「Hi」だけでいいです。

注意してもらいたいことが1つあります。それは、さっきの「How are you?」は

実際には「お元気ですか?」という意味ではないということです。

「Hey, how are you?」にはどう返せばいい?

では、「Hey, how are you?」は「お元気ですか」という意味でないなら、どういう意味でしょうか? 前にお伝えしたように、「Hey, how are you?」は

「明るく挨拶したい」ということを表現します。

x:

“Hey, how are you?”

“Hey, I’m good thanks. I just went to work today and it was really…”

o:

“Hey, how are you?”

“Hey, I’m good thanks. How are you?”

“I’m good, thanks.”

実際の状況に関わらず、ほとんどのアメリカ人は一言で返す：Good.

実は、教科書で教わる「I'm fine, thank you」のfineは50%以下の状態を表すのです。一方、「Good」の方は普通より良いことを表します。

「How are you?」の色々な言い方

「How are you?」だけではなく、色々な表現があります。例えば

“How are you?” (一番フォーマル)

“How are you doing?” (フレンドリー)

“How's it going?” (一番フレンドリー)

前にお伝えしたように、アメリカ人は普段「How are you?」に対して「I'm good」で返しますが、「How are you doing?」や「How's it going?」に対しても、同じフレーズを使うのでしょうか？

“How are you?” “I'm good” (自然)

“How are you doing?” “I'm good” (不自然)

“How's it going?” “I'm good” (不自然)

以上の返事はなぜ、不自然なのでしょうか？

ポイント：質問に答える時に、ネイティブスピーカーはふつう、質問文の形に合わせて答える。

“How are you?” “I'm good”

“How are you doing?” “I'm doing good”

“How's it going?” “It's going good”

ネイティブスピーカーと教科書のずれポイント：

「I am good」で返すのが正しくないと思うアメリカ人が多いようです。私は子供の頃に、「I'm good」ではなく、「I am well」で返せば良いと教わりましたが、実は「I am well」で返事する事は珍しくて、よりフォーマルな場面でしか使わないのです。

でも、「I am not good!」の時には？

私たちはいつも楽しかったり、調子が良かったりするわけではなく、悪い時もありますよね。そんな時に何と言えば良いのでしょうか？

「Hey, how are you?」

I am...

Great	100%
Good	70%
Fine	50%
Ok	40%
Not so good	30%
Bad	20%
Horrible	0%

では、これでアメリカ人のような自然な挨拶をマスターできましたね！どうでしたか？

次は：アメリカ人のように、How are you?と聞く自然な言い方

英会話の基礎

パート 2 : How are you? と聞く自然な言い方

A: "Hey! how are you?"

B: "Hey! I'm good, how are you?"

A: "I'm good, thanks!"

次は？この前の記事では、その「How are you?」は実際に「How are you?」という意味ではなことを学びました。ただの挨拶だけです。

では、ここで相手についてどうやって喋り変えたら良いのでしょうか？

とりあえず、同じ質問したらちょっと変になってしまいます。

A: Hey, how are you?
B: I'm good, how are you?
A: I'm good, how are you?
B: You just asked me that...

違う質問をする方がいいですね。「How are you?」と同じような

"How are you doing?"

もしかして

"How's it going?"

も聞くんですが、それも不自然になる場合もあります。
前から知り合っている友だちなので、最近の情報について聞く事ができます。

"How have you been recently?"

“What have you been up to recently?”

最近友だちに会ったことがあるなら、

“What were you up to today?”

今日、何してた？

以上の質問は「How are you?」と同じような役割ですが、質問の形が違うのです。

文法: 「Recently」を使うと、動詞は必ず現在形以外の形です。

「How have you been recently」の答え方

これは相手の状態について聞く質問です。アメリカ人はふつう、全体的な状態を説明してから細かく説明します。

A: “How have you been recently?”

B: “I’ve been good, I’ve been working hard at work”

「What have you been up to recently?」の答え方

「Up to」というフレーズは「doing」と同じなので、言い返すと「What have you been doing?」とも言います。

最近から今まで続いている状態だったら、Have been +ingを使う方が自然です。

最近一回したことなら、普通の過去形が使えます。

“What have you been up to recently?”

(今まで続いている状態) “Nothing too much, I’ve been busy at work.”

(前に一回やったこと) “Nothing too much, I watched a movie.”

「What were you up to today?」の答え方

この質問は “What have you been up to recently?” に近いですが、時間的に朝から今までの期間に限られています。

“What were you up to today?”

“Not much, I just rode an elephant.”

相手に興味を表すことも大事！

日本語のように、相づちは英語で相手に興味を持つことを表します。

「Oh really?」か「I see」の代わりに、以下の相づちが以上の表現に合います。

“That sounds _____!”

“That’s _____!”

その「that」は相手が言ったことに指します。

“I worked all day” “That sounds tough!”

“My boyfriend broke up with me” “That so bad, I’m sorry!”

“I rode an elephant” “That sounds amazing!”

でも使いすぎないように注意ください。アメリカ人も相づちを使うと言っても、日本人のほど使いません。

私の場合は、最初に日本人に出逢って会話を始めたら、相手が相づちを使いすぎて、逆に興味がないと思いました。

相づちは、アメリカ人が日本人より半分ぐらい使います。

これで、アメリカ人の友だちと自然に会話を始める事が出来ます！おめでとうございます！

次は: アメリカ人のように、お願いの仕方

英会話の基礎

パート 3：違和感がない、自然なお願いする方法

「お願いしてもいい？」

「悪いけど、やってもらいたいことがあるんだけど」
何かをお願いするとき、言葉遣いにはかなり気をつけますよね？

一言間違えると相手に違和感を与え、その上お願いに答えてもらえないこともあるかもしれません。

英語も日本語と同様、言葉遣いに気をつけないと相手は何もやってくれないことがあります。

このセッションでは、アメリカ人のようにお願いする方法が学べます。

英語でお願いするとき、何と言う？

「Could you」や「Would you」というフレーズをご存知ですか？実は、これだけを使って

Could you do this for me?

のようなお願いをしたら、短すぎて相手に失礼だと思われる可能性があります。

お願いする時に一番使う言葉

お願いするとき、アメリカ人が一番使っている言葉は実際に教科書に載っていません。その言葉はなんでしょうか？

「Hey」

はい、そうです。

実はお願いするときには「Hey」で始まります。

この「Hey」は挨拶の「Hey」と違って、「ちょっと待って！大切な事を伝えるところだよ」ということを意味します。

このような場面でよく使います。

伝えにくいことがある時

Hey, I need to tell you some bad news...

相手にある行動を止めてほしい時

Hey, wait a minute!

ではまず、「Hey」で始めてみましょう。

「お願い」の核

英語でお願いするときに、二つの部分があります。導入と核です。

まずは、お願いの核を「丁寧なお願い」と「フレンドリーなお願い」に分けてお教えします。

丁寧なお願い

では丁寧に、お願いをしたいときに、何と云えばいいのでしょうか？

丁寧なお願いは「I was wondering if you could」で始まります。

この言い方はより間接的なので、相手の遠慮を減らす力もあります。

I was wondering if you could do this for me.

他の表現も色々あります

Would it be possible to...

I was wondering if you could...

Would it be alright if I...

フレンドリーなお願い

友達に丁寧すぎるお願いすると、逆に違和感を感じさせる恐れがあります。

代わりに、フレンドリーな頼み方をしましょう。

フレンドリーな言い方とは、相手との親しみを感じさせる言い方

ではどうやって相手に親しみを感じさせながら頼むことができるのでしょうか？

フレンドリーなお願いは「Would you want to」で始まります。
そのお願いがあまり大変でなければ、このような言い方がいいです。

Would you want to do this for me?

他の表現も色々あります。

Would you want to…

Do you want to…

Could you… for me?

「お願い」の導入

大変なことを頼みたいときに、様々な言葉を先に言いながらお願いします。

例えば

「悪いけど」

「申し訳ないのですが」

などなど

英語でもいろいろありますが、この記事で4つに絞りたいと思います。

Would it be alright if I asked you something? (最も丁寧)
Can I ask you something? (普通)
Could you help me out with something? (フレンドリー)
I have a favor to ask. (普通)
I was wondering (フレンドリー)

丁寧度に合わせて使ってみてください。

大変なお願いがある時

特にするのが大変なお願いがある時に、あなたはお願いの導入の前に相手のためらいを減らすための言葉を使いませんか？これをまくら言葉と呼びます。

アメリカのまくら言葉は普通、「自分が悪い」ということを伝えます。例を4つ見てみましょう。

I feel horrible asking, but... (最も丁寧)
I hate to ask, but...
I'm sorry to ask, but...
I'm sorry, but... (普通)

まとめた例を見ましょう！

Hey, can I ask you something? I was wondering, would it be ok if I borrowed ten dollars?

これはなかなか相手に申し訳ない気持ちを伝えることができます。
ではこれで、アメリカのベーシックなお願いの仕方が分かりましたね！いかがでしたか？

ここまで読んで頂いて、ありがとうございます！あなたのことをもっと知りたいので、聞きたい事があります。

次は: 違和感がない、友達を遊びに誘う方法

英会話の基礎

パート4：違和感がない、友達を遊びに誘う方法

誰かを遊びに誘いたい時、何と言って始めるのでしょうか？このレッスンでは、

アメリカ人がいつも使う遊びの誘い方について学びます。

もし突然、「Do you want to hang out?」や「Let's get lunch」といって誘ったとしたなら、相手に違和感を与えてしまうかもしれません。

でもこの6つのステップで誘えば、自然かつ簡単に誘えます！

Step1:誘いの導入 | 相手の好みを聞く

まずは、誘いの前に導入があります。直接誘う前に、相手の嗜好について聞くことが大切です。その際、遊びのトピックを紹介するのがポイントです。これを挟むことによって、Step2につなげやすくするのはもちろん、相手のことも深く知ることができますね。

例えば・・・

Do you like indian food?

この質問をすると、相手に「インド料理を食べる」ということを想像させる効果があります。

その上、相手の答えによって、誘いにのってくれそうかどうかわかります。

例えば

Do you like Indian food?と聞いて、相手が

Yes, I do!

と答えたらここはチャンスです！すかさずStep2の方法で遊びに誘いましょう。(インド料理に誘ってもよい)

もし、No, not really か It's okと言われてしまってもあきらめないで！
(インド料理には誘わない方がいい)

もし相手がNoと答えたら、別のことに誘うチャンスです。その場合には、「well」で始めると自然に聞こえますよ！。

A:No, not really
B:Well, what about coffee?
A:Yes, I love coffee!

というようにこれから、誘うチャンスに変えてしまいましょう。

Step2:誘いの核

何かに誘い始める時に、アメリカ人は普段「Would you want to」か「Do you want to」で始めます。

「Would you」の方がは少しだけ丁寧です。顔見知り程度の友人やあまり知らない人なら、この表現がおすすめです。

「Do you」の方はより親しみを込めています。仲がいい友人なら、この表現がおすすめです。

Would you like to get coffee with me?

押し付けがましく見せたくないなら、最後に「sometime」を付けます。この「sometime」は「いつか」という意味で、相手に日程を決める自由を与えている印象になります。

遊びに誘いたい時はWould you like to get coffee with me?

押し付けがましくそうにみせたくないなら、

Would you like to get coffee with me sometime?

やった！これでアメリカ人のように、遊びに誘えました！

Step3:おすすめて聞く場所の決め方

次は、遊ぶ場所についてです。

誰かに誘われたら、アメリカ人は相手におすすめの場所を聞きます。

Do you know any good coffee shops around here?

このフレーズで相手におすすめ等の知識を聞くことで、相手に対する尊敬を表します。相手の話も聞くことで一方的で押し付けがましい感じが少なくなります。とにかく相手に押し付けるプレッシャーを無くします。

もし上記のようにおすすめを聞かれたらどうしますか？この質問に対する答えに、ネイティブはこんなフレーズを使います。普通は、以下のような形になります。

I know a good (店の種類) called (店の名前). It has great (名物).

もし僕が、特にお気に入りの「Thinking Cup」というカフェをおすすめしたかったら、

I know a good cafe called Thinking Cup. It has great Cappuccinos.

と言います。

聞き手は第二回で学んだように、相手に対して「That sounds good!」のようなフレーズで答えます。

Step4:時間を決め方

場所を決めた後は、待ち合わせの時間を決めます。

色々な言い方があるのですが、この3つの聞き方が一番よく使われています。

When is good for you?
When are you free?
When is a good time for you?

アメリカ人は曜日から時間に絞るのが普通です。

この質問に対して、「**(曜日) is good for me**」か「**I'm free on (曜日)**」
都合のいい曜日を教えたい時にも色々な言い方があります。

毎週いつも空いている曜日だったら「on」を先に言いい、曜日の複数を使います。

ところが、特定な日にちだったら「**this (曜日)**」か「**next (曜日)**」

または、「**(曜日) the 12th**」と言います。

「This」が一番近い曜日を表します。「Next」はその次の曜日を表します。

「**(曜日) the (日)**」は月の特定な日を示します。

I'm free Mondays.
I'm free this Thursday.
I'm free Thursday the 25th.

「その時間は都合がいいよ。」時間は普通「good for me」(私にとっていい)で表現します。

時間の決め方は例えばこんな感じです。

A : Ok, what time is good for you?

B : 7:00 pm is good for me, how about you?

A : 7:00pm is good for me.

ポイント

まずは”When～?”と聞くと範囲が広いので、曜日を示す。

次に”What time～?”と聞くと範囲が広いので、時間を示す。

Step5:待ち合わせ場所の決め方

たまに、おすすめの場所を聞いたものの、詳しい行き方がわからないときがあります。

そんなときは時に、わかりやすい待ち合わせ場所を決めましょう。

聞き方はとても簡単！

Where should we meet?

Let's meet at _____

でよいです。

例えば

Where should we meet?

Let's meet at the station.

のように答えましょう。

これで時間と待ち合わせ場所が決まりましたね。

Step6:約束を確認する

いろいろなことが決まったら、待ち合わせの詳細を確認しましょう。

約束の確認をするときは、「Good」や「Great」、また他の肯定的な言葉で始めます。

A : Great, so this friday at 7:00, meet at the station. We'll go to Thinking Cup.

B : Sounds good, see you then!

相手に自分が楽しみである気持ちを表現するのは大切なポイントです。アメリカ人なら、いつも「See you」か「see you later」で終わります。

どうでしたか？この6つのステップに従えば、難しそうな遊びの誘いもとても簡単ですね。自分からも積極的に誘ってお友達ともっと仲良くなりましょう！

次は: 違和感がない、会話の締めくくり方

英会話の基礎

パート4：違和感がない、会話の締めくくり方

今までにこんな経験はありませんか？相手との空気が重く感じて、目線があってももう話すことがない！

そんな時はお互いに言葉が少なくなり、指で何かをもてあそんでいることもあります。

母語の日本語でもこのような場面を避けるのは難しいですね。

これがさらに英語だったら、言語の壁がある上、アメリカ人の文化も乗り越えなければいけません。

では英語で会話を締めくくりたい時には、どう言えばいいのでしょうか？

このような気まずい状況を避ける方法を今からお教えします。

時間

Hey, do you have the time?

Do you know what time it is?

What time is it?

この後の予定

What do you have going on after this?

Do you have any plans after this?

What are you doing later today?

話題を変える

お願いする方法と同様、突然話題を変えると相手に違和感を与える可能性があります。

まずは、相手の思考を一度他のことにつなげることです。以下のトピックについてはいつでも話すことができますが、会話の最後に入れる方が自然です。

このような質問をすると、相手が自然に時間や予定のことを考えるようになり、
会話の終わりにだいぶ近づいてきましたよね。

会話を終え始める

ここで会話を終え始めることができます。お願いすることと同様、会話の終わりはほぼ、一つの言葉で始まります。その言葉は

「Well,」

この「Well」は「良く」という意味ではありません。この場合の「Well」は特定の気持ちを表します。

「悪いのだけど、伝えたいことがあります」という気持ちを伝えることができます。

Wellの後は、次のように言います。

相手を褒める

会話を終えることはもしかしたら相手にとって悲しいことかもしれません。その悲しい気持ちに対しては、会話の終え始める前に相手を嬉しくさせることを言うのが普通です。

This was fun
It was nice seeing you
It was nice talking to you

ポイントは過去形です。現在形を使うと、相手に「今も楽しいから、もっと会話を続けたい！」ということ伝えてしまいます。

過去形を使うからこそ「楽しかったけど、今はもう会話を続けられない」という気持ちが伝わります。

相手を会話の終わりに近づけられたので、この後、会話を締めくくることが出来ます。

会話の終わり、その導入

お願いと同様、会話の終わりはふつう二つの段階があります。その終わりをもっと丁寧にするために、このような導入が使えます。

I would love to talk more, but…
I'd like to stay longer, but…
I'm sorry, but…

「But」で終わるのがポイントです。

会話の終わり、その理由

アメリカ人は会話を終えなければならない理由を伝えて、「この会話を終わりにしよう」ということを伝えます。

I gotta go to (work)
I have plans soon
There's something I have to do now

それから最後に、、、

会話の終わり、その締めくくり
バイバイだけではなく、色々な言い方があります。

タイプは二つあります。

フレンドリー

このタイプは相手にまた会うのを楽しみにしているという気持ちを伝えます。

See you again!
Talk to you later!
See you later!
See you next time!

普通

このタイプはまた会うか関係なく使える、普通の別れの挨拶です。

普段はHave a good (期間)

と言います。そんなにすぐに会わないのであれば、特定の期間を言うより、一般の「one」と言う人が多くいます。

Have a good day!
Have a good week!
Have a good one!
Bye!

まとめをしましょう！

これで、会話の締めくくり方が分かりましたね！どうでしたか？以上のことをまとめて、自然に会話を締めくくりましょう！

A: What time is it?

B: It's 7:00

A: Well, It was nice talking with you. I would love to talk longer, but I have plans soon. See you later!

B: See you later!